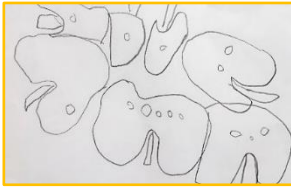




# 竜美丘スタイル

ともに「笑顔」「学び」「感謝」を毎日 授業で輝く竜美っ子

## 心のゆとりを生み出し子供に寄り添う



運動会から1週間。気温もぐっと上昇して扇風機がかかせません。先日教室のエアコンも点検が終わり、解禁となりました。授業に最適な環境です。

1年生が朝顔の観察。室内とはまた違った表情で記録しています。上からのぞく、触ってみる、葉の数を数える子。逆に遠くから見る子。23日(木)の打合せで、『その子らしさ』を見てほ

しいとお願いしました。中には、私に困った顔をして絵を見せる子も。「葉っぱが穴だらけ」「虫に食べられたかも」と。「じゃあ、明日はどうなってるかな」とそっと話しました。みなさんなら、どう話しますか？それとも、そっとしておきますか？

実は、23日は図画工作科の指導員を招いて校内授業研、竜美っ子が下校後に協議会を。そしてさらに週1回の打合せです。勤務時間終了の16時35分があつという間に来てしまいました。

PTA総会で私から下の①～⑤の説明をしましたが、保護者の皆様にはご理解とご協力に感謝です。①の電話対応の時間を変更1つ



(7時30分～18時) としても、授業準備等に時間が当てられ、結果として心のゆとりを生み出し子供に寄り添うことにつながります。



さて、この日4年生で紙バンドを10分間自由に触らせました。まるめる・折る・裂く・巻くと個々で活動が。徐々に互いが気になり始めた子供たち。そこで、石田教諭が代表作を取り上げて電子黒板で紹介。結ぶ・ねじるなどの発想に私の想像を超えました。「カタツムリ」には驚きの声！この感動を私たちも大切に。



- 【学校】教職員の働き方改革の推進と  
教育活動の見直しや充実の両立
- ① 「令和六年度 学校要覧」より一部抜粋(配付済)  
電話対応の時間を制限、欠席のForms入力、「週末ノ宿題デー」実施などによる、心のゆとりを生み出し子供に寄り添う体制の確立
  - ② ペーパーレス化、Teamsの活用、各行事や活動の見直し等によるムダ・ムリ・ムラをなくし、常に危機管理に目向け、子供主体の教育をめざした職場
  - ③ 教材研究、授業準備の時間を確保し、子供が主役となる授業研究と変化や変容を認める力量の向上
  - ④ 一人で問題を抱えることなく、子供の声を聞き、保護者に共感的に寄り添いチームで解決できる連携
  - ⑤ 顧問四人制による部活動の体制を整え、安心・安全をめざした指導の充実・向上